

第24回運営評議会議事概要

1. 日時 平成27年3月18日（水）13：00～15：00
2. 場所 東京グランドホテル3階「蘭」
3. 出席者
委員 松倉委員、芳賀委員、青木委員、内藤委員、坂田委員、赤松委員、
石山委員、大西委員、岡山委員、小竹委員、十菱委員、町田委員、
柚木委員、吉田委員
主務省 平形経営政策課長
事務局 中園理事長、須藤理事、勝又理事、田辺監事、伊藤監事、
下條企画調整室長、廣田総務部長、山田業務部長、小林資金部長、
水上数理・情報技術役
4. 議題
 - 1 農業者年金事業の実施状況について
 - 2 加入推進の取組状況について
 - 3 年金資産の運用状況等について
 - 4 平成27年度計画（案）について
 - 5 その他
5. 議事概要
 - 資料1から資料4について、（独）農業者年金基金から説明を行った。
 - その後、意見交換が行われ、加入推進の取り組み等について各委員から発言があった。

<主な意見等>

[加入推進関係]

- ・加入推進について、前年度実績を超えるような頑張っている地域もあり、今後どのような形で進めていくか、勉強する必要がある。
- ・運用実績もかなり良い数字を出している。加入推進するうえで、今加入しても大丈夫だよと言え、安心性が高くなると思うので、進めやすい。
- ・国民年金基金では、ラジオコマーシャルで「老後、生活費に」とやっており非常に分かりやすい。農業者年金でも、農作業中にラジオを聴いている方も多いので、そのようなラジオコマーシャルをするように提案して頂ければと思う。
- ・

[資金運用関係]

- ・資金運用に関し、マイナスにならないようにというのが大方の意見だと思う。これからも安全運転でお願いしたい。

(基金)

- ・ 専門家の方による資金運用委員会において、リスクを取ってまでリターンを取るようなことは、今考える必要はない。現行の運用割合で運用していくという結論をいただいています。

[その他]

- ・ 加入は60歳で終わりますが、60歳後も元気で働いて、自分の原資を少しでも増やそうという人が多くおられます。60歳後も加入期間をその先5年延ばせるという制度改正に向けての声が強いので、検討していただきたい。

(基金)

- ・ 国民年金が原則60歳までの加入となっており、また農業者年金についても国民年金と相まって農業者の老後生活の安定のためという基本的な考えのもと、60歳までの加入となっているところです。しかし、基金としても、そのようなご要望があることは農林水産省には申し上げていますし、農業委員会系統、JA系統からもそのような制度改正の要望を出していただければと思います。

以上